

第1学年 総合的な学習の時間 学習指導案		日時	平成30年10月9日(火) 第5校時
単元名	地域の防災リーダーになるために 【本題材で育成しようとする能力…主体性】	学年・組 人数	第1学年B組 男子16名 女子11名 計27名
指導者	岡崎 恵介	場所	1B教室

### 1 単元観

本単元では、自分たち自身の命を守るためにはどうすればよいかを考えていく中で、自分たちの暮らす地域での防災の在り方について知り、「自助」「共助」「公助」について考え、中学生の自分たちに何ができるかを模索し、行動する生き方を探究していく。災害時の避難経路を考えることは、社会科における地図を読む学習に、防災グッズや生活の中での防災について考えることは、家庭科における「災害への備え」の学習に繋げることができる。このように、本単元は他教科と相互に関連させながら授業を展開していくのに適した内容である。また、防災士の方の話や、防災士の話を聞く活動から、防災士の方がどんな思いを持って地域を守ろうとしているかを学び、地域の中での自分たちの役割や、今後、地域のためにどう行動すべきか等、自己の生き方を考えさせることにもつなげることができる単元である。

### 2 生徒観

質問	知っている	知らない
①大雨の時の避難場所を知っていますか。	82%	18%
②地震の時の避難場所を知っていますか。	64%	36%
③避難場所に行くときに、どこの道を通って行けばよいか知っていますか。	74%	26%
④近所に、小さい子や、お年寄りの方がどこに住んでいるか知っていますか。	72%	28%

調査①～③では、西日本豪雨での体験があり、地域の防災について知っている生徒の割合は高い。しかし、安全に非難する経路や地震のときの避難場所を知らない生徒が約3割ずついることが分かる。また、調査④からは、地域にどのような人が暮らしている人か分からないと回答した生徒が約4分の1いることが分かる。以上のことから、本学級の生徒の課題は以下の2点である。

- (1) 防災について意識を高め、自分の命を守るために何ができるかを考えるとともに、地域の中でどのように行動していくべきか考えること。
- (2) 地域に対する防災意識を高めていく中で、自己の命を守るとともに、他者の命を大切にしようとする優しさや思いやり、地域のために役に立ちたいという主体性を確立していくこと。

### 3 指導観

本単元を通して、西日本豪雨での自身の体験をもとに、危険な箇所や避難場所、避難経路などを確認する中で自分たちの住んでいる地域を見つめ直し、災害時に自分たちは、どのような行動をとるべきか考えさせていく。自分たちの行動と避難するという行動とを比較し、その難しさを実感させ、グループでの話し合い活動を通して災害への備えや対策の大切さに気づかせ、避難するために今の自分に何が必要なのかを考えさせていく。また、『防災について自分の命を守るために何ができるかを考えるとともに、地域の中でどのように行動していくべきかを考える』ために、認定こども園の子ども達との防災訓練や、図上訓練など、地域の方との交流を通して、災害時に幼児や高齢者など災害弱者への配慮や気遣いをしようとする心情を育て、どのような支援ができるか考えさせることで、自他の命を守ることや自分たちの地域での役割を認識させていきたい。そして、実地訓練や学習を通して率先避難や地域住民とのつながりの大切さを感じさせ、地域の防災リーダーとしての意識を高めていきたい。

4 単元構想

**めざす姿** 災害時に自分自身の身を守るとともに、地域を守るためにできることを考え、実践しようとすることができる。

目標	単元の課題 災害時に自分たちは、どのような行動をとるべきか考え、自己の命を守るとともに、他者や地域全体を大事にしようとする生き方とはどのようなものかを考える。			
	学習課題	生徒の学習活動	評価規準	教科等との関連
<div style="background-color: #cccccc; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">生かす 振り返る</div> <div style="background-color: #cccccc; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">伝え合う まとめる</div> <div style="background-color: #cccccc; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">探究する</div> <div style="background-color: #cccccc; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">探究する</div> <div style="background-color: #cccccc; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">つかむ</div>	<p>○「いのちの学習」のまとめをする。</p> <p>○防災マップを再構築し、プレゼンテーションを行う。</p> <p>○図上訓練、防災マップを作成する</p> <p>○情報収集</p> <p>○防災の3Kをもとに必要な情報は何かを考える。(本時)</p> <p>○西日本豪雨や自身の体験をもとに災害時の状況を振り返る。</p>	<p>・自らの役割、地域での役割を確認し、自己の生き方について考える。</p> <p>・自分たちの命を守るとともに、近所の小さい子やお年寄りの人達と共に避難するためにはどうすればよいか、考える。</p> <p>・聞き手にわかりやすいように工夫してプレゼンテーションを行う。</p> <p>・地区ごとに情報を持ち寄り情報の取捨選択をする。</p> <p>・避難経路や活用できる公共施設などを色分けして、災害時に自分たちがどの経路を通って避難すればよいか、地図に書き込む。</p> <p>・インターネットや図書、新聞、雑誌等の文献及びフィールドワーク等による現地調査から情報収集を行う。</p> <p>・前時に話し合った内容を「気付く」「考える」「行動する」に分け、そのために必要な情報や調べる項目を考える。</p> <p>・自分の体験をもとに、感じたこと、困ったこと、行動に移したこと、知っておくべきことなどを出し合い、災害について考える。</p>	<p>・社会の中に生きる一員として、自分に何ができるかを考え、行動している。</p> <p>・設定した課題から自己の生き方を考え、意欲的に行動している。</p> <p>・「自分たちを取り巻く地域を守るために自分たちに何ができるか」という課題の解決に向けて、仲間と協働して課題を追究している。</p> <p>・課題解決に向けて収集した情報から、必要な情報を取捨選択している。</p> <p>・自分の考えやグループの考えをもとに、設定した課題を解決しようとしている。</p> <p>・課題に対して興味関心を持ち、習得している知識を活用して、学習課題を設定している。</p>	<p>・道徳 (11月) 『娘のふるさと』 地域社会の一員としての自覚をもち、郷土を愛し、その発展に努めようとする道徳的実践意欲を培う。</p> <p>・学校行事 (11月) 認定こども園との防災訓練</p> <p>・社会 (3月) 『日本の姿』 地図から、有用な情報を適切に選択して、読み取り図表などにまとめる。</p> <p>・保健体育 (6月) 『救急救命講習』～応急処置・AEDの使い方～</p> <p>・総合的な学習の時間 (1学期) 『海洋教育』 課題解決に向けて、計画的かつ見通しを持って探究活動ができる。</p> <p>・家庭科 (1月～2月) 『災害への備え』 災害への備えの必要性がわかり、住まいや地域における工夫を考えることができる。</p> <p>・国語科 (5月) 『わかりやすく説明しよう』 説明する観点を決めて情報を整理し、わかりやすく説明する。</p>

生徒の実態	<ul style="list-style-type: none"> <li>・災害時にどのように避難すればいいか知りたいと思っている。</li> <li>・一人でいるときに避難することができるだろうか不安を感じる。</li> <li>・災害時にどこにどうやって避難したらよいか知りたいと思っている。</li> <li>・地域のお年寄りの方などと一緒に非難して助けたいという気持ちを持っている。</li> <li>・自分の生まれ育った地域で、人々の役に立ちたいという気持ちを持っている。</li> </ul>
-------	--

5 学習の展開

**本時の目標**：避難してもらうためにどうしたらいいのか、習得している知識を活用して、学習課題を解決しようとしている。

	学習内容	◇指導上の留意点 ◆「努力を要する」状況と判断した生徒への指導の手立て	評価規準 (評価方法)
導入 5分	1. 学習課題への意識づけ ○これまでの学習の流れをふりかえる【全体】	◇前時の学習を振り返る。 ◇どうして避難しなかったのか、どんな時に身の危険を感じたのかを振り返り、避難の重要性について想起させる。	
	<b>学習のめあて</b> 避難する？→避難しよう！ へ		
	2. 本時の学習内容 ○本時のめあてを確認する。		
展開 35分	3. 尾道の人はどれだけ避難しただろうか？ ○予想した後、実施の状況を知る。 4. 避難しなかった人たちに避難してもらうためにはどうしたらいいだろう。 ・「何を知っておけばよかったか。」 ・「どんな準備をしておけばよかったか。」 ・「家族とどんな話をしておけばよかったか。」 について考える。 【個人思考】5分 【集団思考】10分 【全体共有】15分 5. どれも大切だが、今回は自助に関することについて、今私たちに最も必要な物はどれだろう。【個人思考】5分	◇避難指示対象 147453 人に対し、 避難者数 6日 22:30 187人 7日 6:00 1070人 7日 13:00 1070人 ◇雨量、特別警報、自治体が出す避難の種類などの知識に関することを引き出す。 ◇避難場所や避難する際の決まり事等、家族で今話していることについて振り返らせる。 ◇防災グッズを準備しているか等について家族で意識しているか振り返らせる。 ◆書くことが難しい場合は、心に残ったことを書かせる。 ◇出てきた意見をカードに記入し、黒板にグルーピングしながら貼っていく。 ◇出てきた意見から、図上訓練について触れ、マップ作成へとつなげていく。 ◇場所や時間を問わず、因島の中にいたとき、避難の際、何が重要だと思うか考えさせる。数人に発表させ、考えの共有化を図る。	○自分の考えやグループの考えをもとに、設定した課題を解決しようとしている。
10分	6. 次時について 7. 本時の振り返り	◇自分が重要だと思ったことをもとに、図上訓練に必要な情報を収集していくことを伝える。 ◇避難するために大切なものは何か、感じたことや考えたことを振り返らせる。	

6 教師の話し合いのデザイン

**前時の学習から**  
自分達が避難しなかった・避難しようとしたができなかったのはどうしてだろう。

どうしていいか、どこへ行けばいいかわからなかった

家族で意見が分かれて避難しなかった

周りが避難している様子になかったから避難しなかった

避難するための準備ができていなかった

まだ大丈夫、ここは大丈夫という気持ちがあった

勇気が出なかった

気付き

「自分は大丈夫」という気持ちを打ち破るため

考える

**発問①**  
尾道の人はいくら避難しただろう？

避難指示発令 21:44  
避難指示対象 147453 人に対し、  
避難者数 6日 22:30 187 人  
7日 6:00 1070 人  
7日 13:00 1070 人

避難指示が出ているにもかかわらず避難している人があまりにも少ないことに気付かせ、避難する行動へ移させる難しさを感じさせる。

行動避難

**深める発問①**  
避難しなかった人たちに避難してもらうためにはどうしたらいいだろう。

そのために

【A 自助に関すること】

- ・警報や特別警報の違いやその種類について把握しておく。
- ・家にいるとき、家族の誰とどこに避難するか、避難場所を決めておく。
- ・水や食料など防災グッズを持ち出せるように準備しておく。

【B 共助に関すること】

- ・近所での助け合いが必要。各家庭を回って声をかける等、避難を呼びかける。
- ・避難しない人には説得することも必要になる。
- ・地域の防災活動に参加して一緒に訓練を受けて、顔見知りになっておく。

【C 公助に関すること】

- ・町内放送で避難を呼びかけたり、避難場所を紹介したりする。
- ・今降っている雨量について情報を提示する。
- ・ダムの決壊の恐れや放流する等の情報を伝える。中庄のポンプが停止したことなど。

**深める発問②**  
A～Cはどれも大切だが、今回は自助に関することについて今私たちに最も必要な物はどれだろう。